

2023
令和5年 8.15 第1406号

広報 いなぎ

稻城市立病院特集号

▷お問い合わせ
市立病院経営企画課・医事課
☎377-0931(代表)



稻城市立病院(大丸1171)

最新情報は市立病院HPをチェック!

[稻城市立病院](#) 検索



地域の医療機関と市立病院が 手を取りあい 稲城の医療を守ります



稻城市内には、稻城市医師会を中心とした地域の医療機関(かかりつけ医)と、高度な医療設備や専門性のある稻城市立病院があります。それぞれに地域医療の役割を分担し、医療機関同士が相互に連携を図ることで、皆さんへ適切な医療を提供します。本特集では、その仕組みや地域医療の体制について紹介します。

稻城市医師会 会長挨拶

5月26日の稻城市医師会定時総会で会長に就任いたしました。コロナ感染症の流行下の3年間、医師会におきましては主に自宅療養者のフォロー等の活動を行い、市立病院にはコロナ外来、入院等で大変お世話になりました。

私は、今まで医師会の理事として主に介護、在宅医療を中心に活動しておりました。現時点では、稻城市内の医療、介護の連携は比較的スムーズに展開しておりますが、今後、市内の後期高齢者が多くなっていくことから、医療依存度が重くなり、市立病院に依頼することが多くなると思われます。

医師会内でも依頼するだけでなく、市立病院から逆紹介をしてもらえるように、医師会内での環境の整備、地域の医療、介護の連携を強化していき、更なる地域包括ケアを推進してまいります。

稻城市医師会 会長 関根 秀明



市立病院 院長挨拶

本年は市立病院本院が竣工し四半世紀を迎える節目の年となり、地域の皆様には感謝申し上げます。また、コロナ感染症は5類に移行ましたが、当院では公立病院の使命としてコロナ入院患者の受け入れを継続しております。

市立病院は自治体病院として、都道府県の定める医療計画に沿った医療体制を提供しています。次年度からの第8次医療計画では、新たに「新興感染症対策」が位置付けられ、「医療連携体制」も明確化されます。当院はこの医療計画に定められた役割機能を果たすと共に、救急・入院・手術・専門的治療を充実させた急性期医療を今後も提供してまいります。また、稻城市医師会や近隣医療機関との連携を強化し、紹介・逆紹介を推進し、シームレスな地域医療提供体制の構築を目指して取り組んでまいります。

市立病院 院長 斎藤 淳一



稻城市は 地域医療連携に 取り組んでいます

治療の流れ

①まずは、地域の医療機関(かかりつけ医等)を受診



②地域の医療機関で、入院や特別な検査・治療が必要と判断した場合、病状に応じた医療機関を紹介



③市立病院等の専門的医療機関で検査や治療を行い、病状等によっては入院

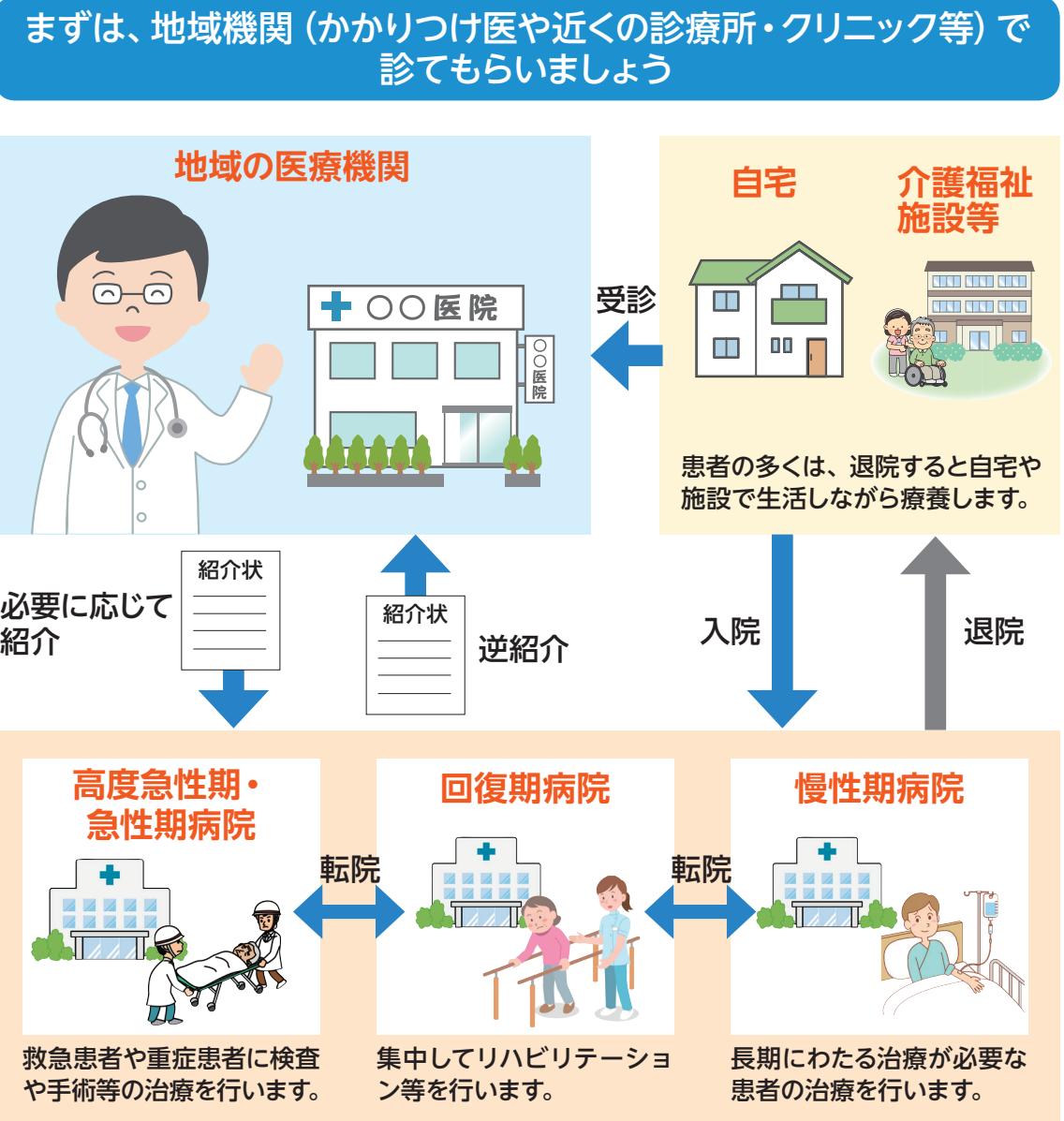


④病状が安定し、通院治療が可能となれば、再び地域の医療機関を逆紹介し、かかりつけ医で診察



⑤リハビリテーションや療養が必要な際は、回復期病院や療養型病院で治療

医療機能の分担・地域医療連携のイメージ



市立病院は地域の急性期医療を担っています

市立病院では、救急患者や重症患者に、検査や手術等の急性期治療を行っています。

市立病院から在宅での療養を希望する場合は、地域連携看護師やメディカルソーシャルワーカー等が中心となって、医療機関等と連携を図り、患者さんが安心して在宅療養ができるよう、通院支援・退院の調整を行います。



Q&A

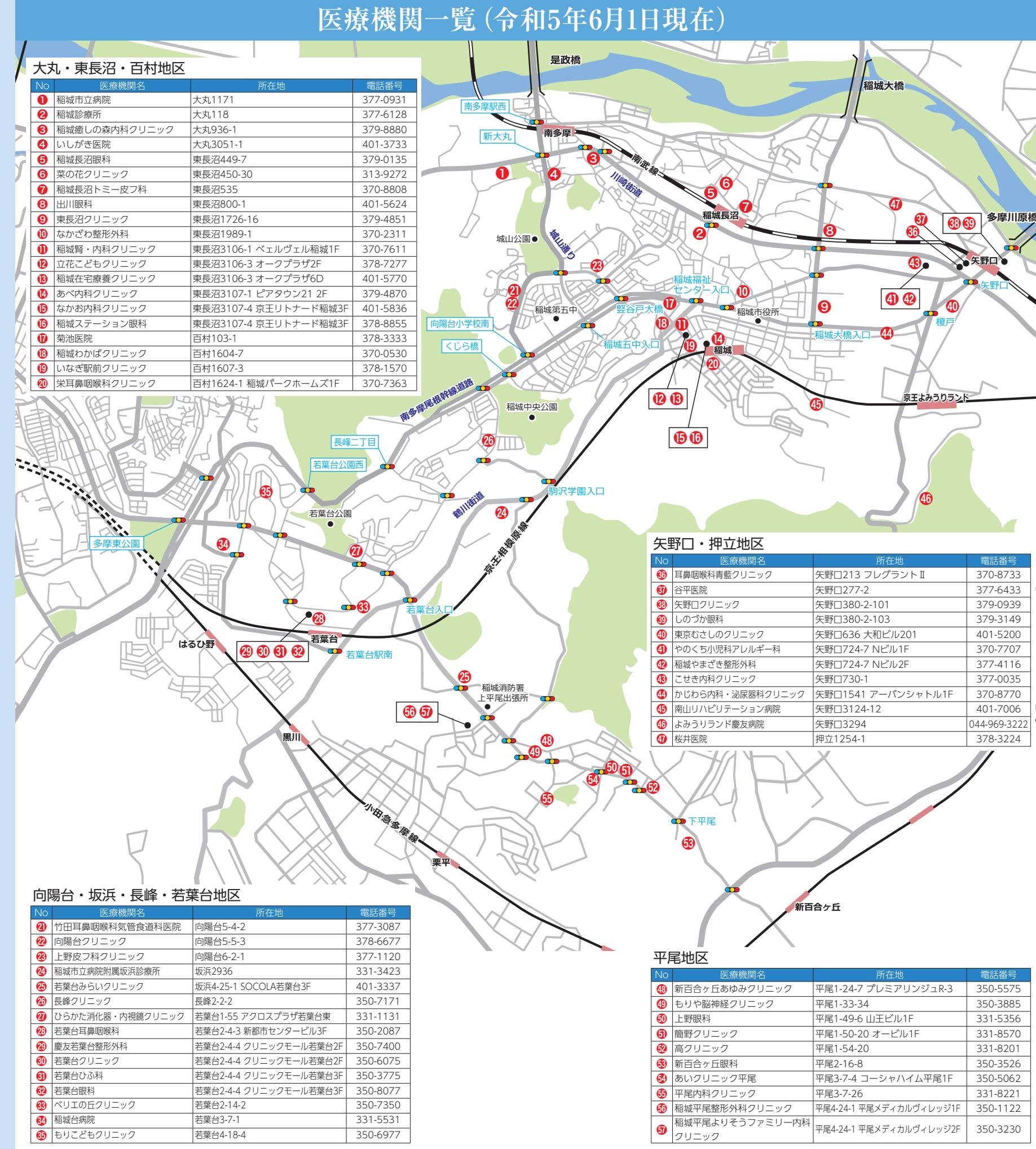
Q1. 紹介状がないと、市立病院(高度な医療設備や専門性を持つ急性期病院)は受診できないのですか?

A1. 紹介状なしでも受診できますが、待ち時間が長くなることや、診察料の他に初診料等の別料金が加算されます。

かかりつけ医からの紹介状を持って市立病院を受診することで、これまでの治療経過を活かした治療を、スムーズに受けられます。

Q2. 仕事を休めないので、市立病院(高度な医療設備や専門性を持つ急性期病院)で夜間や休日等に受診したいのですが…

A2. 最近では、夜間や休日の診療に、緊急性の低い患者さんの受診が増加し、緊急性の高い患者さんへの対応が後回しになる等、大きな問題となっています。診療時間外は医療スタッフも限られているので、応急的な治療・検査しか受けられず、診療時間内に改めて受診し直す可能性もあり、医療費も割高になります。急病や重症の場合を除いて、地域の医療機関で診療時間内に受診をするようにしましょう。



Q3. 入院している病院からリハビリテーション病院に転院するといわれたのですが、ずっと同じ病院ではいけませんか?

A3. 病院にはそれぞれ特徴と役割分担があります。種類としては主に「高度急性期病院・急性期病院(市立病院)」「回復期病院」「慢性期病院」に分けられ、患者さんの病状に応じて適切な医療が提供されます。「急性期病院」での急性期治療が終了すると、次に「回復期病院」のリハビリテーション病院に転院し、本格的な訓練をすることになります。病院が変わるのは不安だと思いますが、転院先の病院へしっかりと治療内容を引き継ぎますのでご安心ください。

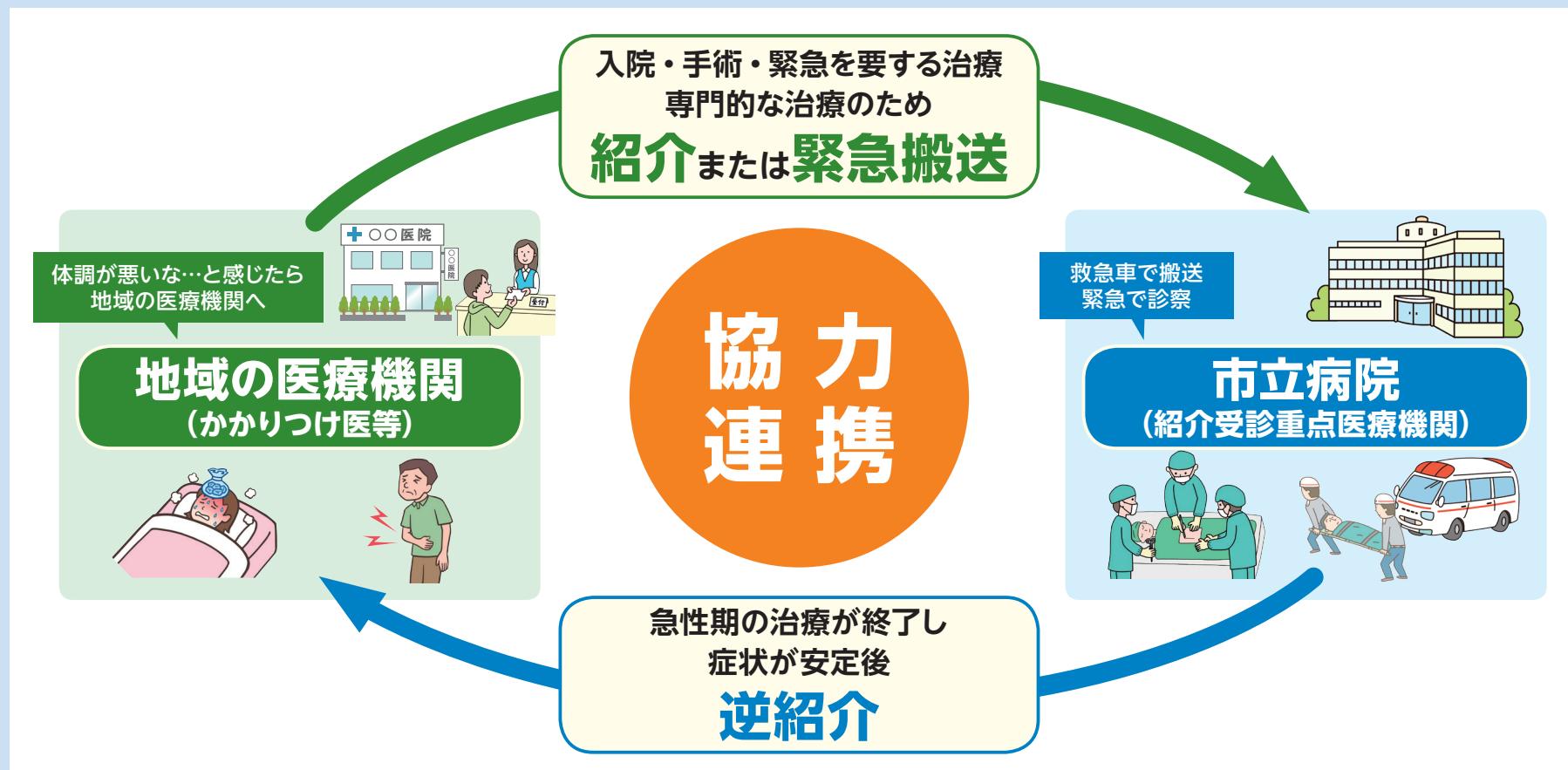
Q4. 今受診している急性期病院でずっと診療したいのですが、医師から近所の医療機関への紹介状を発行してもらいました。これはどのような意味なのでしょうか?

A4. 一般的には「症状が安定しているので、今後はかかりつけ医等の地域の医療機関において診察をお願いします」という意味です。今受診されている急性期病院で、引き続き診療を受けられたいお気持ちちは理解できますが、症状が安定した患者さんを診療し続けると、外来患者さんが増え続けて、高度な医療設備や専門性を必要とする患者さんへの対応が遅れる原因になります。ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

8月1日より 稲城市立病院は 紹介受診重点医療機関 となりました

医療法の改正に伴い令和4年度から始まった、外来医療の実施状況等を各都道府県に報告する外来機能報告制度で、市立病院は紹介受診重点医療機関の基準に適合したため、南多摩保健医療圏域における東京都地域医療構想調整会議の協議の結果、8月1日付で国の定める紹介受診重点医療機関となりました。

市立病院が紹介受診重点医療機関に指定されることで、地域の医療機関(かかりつけ医等)での初期診療と、市立病院での専門医による入院治療や手術・救急患者の受け入れ等で、連携・協力体制が強化されます。これにより、市立病院での高度な検査や治療、入院の受け入れ等がスムーズに行われ、将来的に外来の待ち時間の短縮にもつながる等、患者さんの負担軽減が図られます。



地域の医療機関 (かかりつけ医等)

●健康に関する相談

日頃の状態を把握しているかかりつけ医であれば、日頃の健康状態を知ってもらえるので、ちょっとした体調の変化にも気づきやすく、病気の予防や早期発見・早期治療が可能になります。

●必要な時は専門の医師・医療機関を紹介してくれます

かかりつけ医は、症状に応じて適切な医療機関・医師をスムーズに紹介してくれます。

●身近で頼りになる医師です

かかりつけ医がいれば、病気や症状、治療法等について的確なアドバイスをしてくれます。

市立病院 (紹介受診重点医療機関)

●医療資源(人材や医療機器等)を有効に活用するため、市立病院は次のような特徴を持つ医療機関となります

- ・地域の医療機関では対応できない患者さん、救急患者さん、専門的治療を必要とする患者さん、手術や入院診療が必要な患者さんを主に担当します。
- ・高度な放射線診断装置や治療機器等を利用して検査や治療等を担うことで、地域の医療を支援します。
- ・新興感染症等への対応を率先して行います。

市立病院からのお願い

日本では、必要な医療を受けられる社会を守るために、医師をはじめとする医療従事者が長時間労働等の努力をすることで支えられています。

令和6年4月より、医師の時間外・休日労働時間の上限時間を原則年間960時間とする新しい働き方のルールが始まります。これにより医師の働き方が変わりますが、これからも地域医療を持続的に提供できるよう、市立病院と地域の医療機関の連携と役割分担に、ご理解・ご協力をお願いします。



ホームページをリニューアルしました

市立病院では、8月1日よりホームページを大幅にリニューアルしました。今回のリニューアルでは、デザインやページ構成を見直し、スマートフォンやタブレットでの表示にも対応し、各デバイスから閲覧できるように改善しています。

今後も多くの皆さんにご利用いただけるよう、更なる改善を図り、情報提供を行います。



▲市立病院HP



▲新ホームページ